

日本科学者会議広島支部・公開講演会

権利としての高等教育無償化—能力・貧困から必要・幸福追求へ—

渡部昭男 (神戸大学教授)

渡部昭男先生（1954年、愛媛県生まれ）：
神戸大学大学院教授、鳥取大学名誉教授。
ご専門は教育行政学、発達保障論。ご著書
に、『格差の問題と「教育の機会均等」』
（2006）；『能力・貧困から必要・幸福追
求へ』（2019）等。



1960～70年代において、障がい児の実践創造・権利保障運動と学的探究との往還によって、制約的な能力観・発達観が転換されていきます。日本国憲法26条の「その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利」規定の解釈は、「発達に必要かつ適切な」「能力発達上の必要に応じた」教育を受ける権利へと深化します。その延長上において、さらに後期中等教育・高等教育への権利を再検討するとどのような問題と課題が見えてくるのでしょうか。「能力・貧困から必要・幸福追求へ」のパラダイムシフトを展望しつつ、近年話題になっている「高等教育無償化」を語ってみたいと思います。

2019年10月5日（土）14:00-16:00 ※入場無料

広島大学東千田校舎402講義室

問い合わせ先：日本科学者会議広島支部事務局：市川 浩(082-424-6397)